

# S部門

(肢体不自由教育部門)

## 社会性を育む教材

### 教材ガイド



鹿本学園キャラクター  
シカちゃん      モトちゃん

平成27年度 第2回作成

# 東京都立鹿本学園

## 目次

- LLブックでごはんをたこ
- きょうのきゅうしょく
- 衣装
- 音程カード
- 給食確認カード
- 着替え

# LLブック ご飯をたこう ～写真を中心に手順を分かりやすく～

## 対象児童・生徒

知的障害や学習障害のため、文字を読み取るのが難しい児童・生徒が対象です。

S

学習グループ

知的障害を併せ有する生徒の教育課程



## ねらい

知的障害や学習障害があり、文字情報から情報を得ることが難しい人のために、写真を中心としてご飯を炊く手順を示したテキストである。文字がないため、写真を見ながら手順を理解することができる。

LLブックとはスウェーデンで考案された知的障害や学習障害があり、文字情報を中心とした書籍では必要な情報を得ることができない人たちに分かりやすく読みやすい本を提供するものです。

文字などを読むことができる能力に合わせて、ひらがな・簡単な漢字やピクトサインを組み合わせて作ることも有効です。

## 教材の使い方 (指導方法)

①事前指導の場面でLLブックをもとに手順を理解する。  
写真と言葉で理解を深めることができる。

②実際にご飯を炊く際にも持ち込んで手順の再確認や終わった作業をシールなどで隠すことで確認できる

③繰り返しの指導の中で理解が深まれば、自らLLブックを手元に置き、確認しながらご飯を炊くことができるようになる。

※ご飯を炊く以外にも他の料理や様々な生活場面で必要な手順を示すことで応用することができます。

右の例は、前半は写真のみ、後半はひらがなで説明をしたご飯の炊き方の例です。



# きょうのきゅうしょく ~きょうのメニューはなんだろう~

## 対象児童・生徒

小2年2組の自立活動を主とする教育課程の児童3名

S 小2 小2A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



## ねらい

今日の給食は何かという見通しを持つ。

## 作り方

パワーポイントに給食の品目や牛乳、ヨーグルト等の写真を張り付ける。

その際、画像の背景はなるべく切り取り、給食の品目が目立つようにする。そしてA4でカラー印刷する。

## 教材の使い方 (指導方法)

朝の会のときに、当日の給食のメニューを教員が提示する。

# ぼくも主役！わたしも主役！

～一人一人が輝くために～

## 対象児童・生徒

- ・ 座位保持いすや車いすに乗っている児童
- ・ 全教育課程の児童

S 小6 A学習グループ

自立活動を主とする 教育課程



座位保持いすに座っても、胸ベルト、腰ベルトで衣装が

## ねらい

- ・ 衣装を着ることで、役になりきる。
- ・ 意欲を高める。

車いす、座位保持いすに座る児童は、胸ベルトが衣装の下にくるように、脇にスリットを入れる。  
歩行ができる児童は、動きやすいようにスカートにスリットを入れる。  
肩や腕の可動域が狭い児童用に肩紐はマジックテープで留めるタイプにする。  
王子衣装は、重ね着風にする。  
すべて「着やすいように!着させやすい!」

## 教材の使い方 (指導方法)

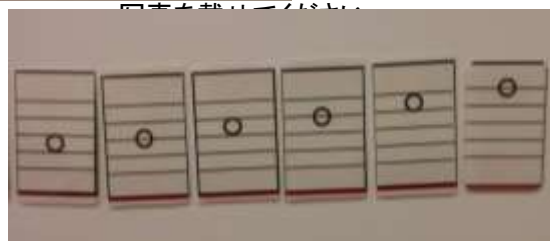
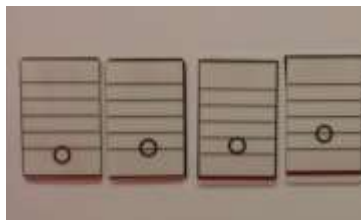


# 音程カード ～楽譜をよみたい～

## 対象児童・生徒

音符を読むことが、まだできない児童・生徒

S                  B・C学習グループ  
教育課程



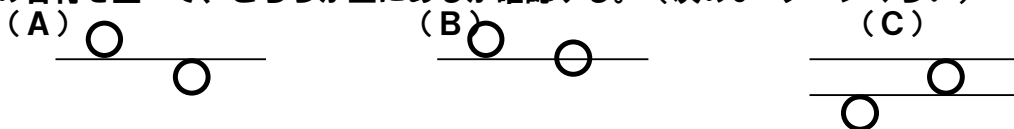
## ねらい

五線譜と音符の関係を理解し、楽譜の音程の理解を深める。

手のひらサイズ。  
裏にマグネットをつけ、固定できるようにしてある。  
階名と音程のマッチングからではなく、音符の高低の理解から取り組んだ。ペアでカードを並べさせたところ、協力し合って取り組んでいた。

## 教材の使い方 (指導方法)

①二つの音符を並べて、どちらが上にあるか確認する。(次の3パターンくらい)



②カードを渡し、左から右へ、音符が(低い→高い)となるように並べさせる。

③並び方の決まりを見つけさせる。

(音符は、線の上→線の間→上→間→上…と、交互に並んでいる。)

④「並べ競争」や「間違いさがし」をして、音符(低い→高い)に慣れる。

⑤ト音記号の「下第1間のレ」と、「下第1線のド」のカードを渡し、下にも線(加線)があることを教える。

⑥「下第1線」がドであることを教え、音階「ドレミファソラシド」と音符(低い→高い)のマッチングをさせる。

# 給食確認カード ～何を食べる？どのくらい食べる？～

## 対象児童・生徒

- ・絵カードを見て、「野菜」、「魚」、「肉」等のカテゴリー分けを学習している。
- ・給食時、一皿ずつテーブルに置いて食べる。何を食べたいかを自分で決める。

S 小4 B学習グループ

知的障害を併せ有する児童の教育課程



## ねらい

- ・毎日の食事や、食品の組み合わせに関心をもつ。
- ・給食をバランスよく食べ、時間内に食べ終えることを目指す。

・「主にエネルギーになる」黄、「主に体をつくる」赤、「おもに体の調子を整える」緑にならない、献立の食品を色分けする。主食や主菜等の給食確認カードを作成する際の手がかりにする。

・食べていない状態を「カード3枚」とし、食べていくごとに2枚、1枚と減らしていくことで、残りの量を視覚的に示す。

## 教材の使い方 (指導方法)

- ①給食の献立と同じ絵カードを選び、主食、汁物、主菜、副菜、牛乳、デザートに分類して給食確認カードを作成する。
- ②給食確認カードを見て、どのような食品が使用されているかに気づく。

### 【給食時】

- 給食確認カードを使用し、「何がどのくらい残っているか」を視覚的に捉える。
- ①給食の1/3量をラベンダー皿に移し、児童の机に置く。
- ②食べ終わったら、再び1/3量をラベンダー皿に移す。そして、給食確認カードから、カードを1枚減らして、残りの量とする。
- ③それぞれのメニューでも同様にし、主食とおかずを順序よく食べることを心がけて給食を食べるようにすること、時間内に食べ終えることができるように、自分の食事のペースを調整することを考える手がかりとする。

# 自分で着替えをしよう ～いろいろな服が着られるように～

## 対象児童・生徒

- ・トレーナーなどファスナーやボタンが無い服では、自分で着脱が可能である児童・生徒。
- ・ボタンやファスナーのある服を着たいが、市販の服では難しい児童・生徒

S

学習グループ

教育課程



## ねらい

- ・市販の服に使用されているボタンやファスナーより大きな物を使用し、将来のおしゃれの幅を広げる。

ボタンのサイズは、大きい物から少しずつ小さな物を用意した。  
服の色、ボタン、糸の色を変え、それぞれが見やすいように工夫をした。  
ファスナーは、通常のものよりも大きな物を準備した。

## 教材の使い方 (指導方法)

- ボタン
  - ・大きなボタンの練習から開始し、次第に小さいサイズの練習に移行する。  
↓
  - ・市販の服（ボタンがついている）を使用して練習をする。  
※ベストを着た後は、廊下に移動をして階段の練習をすることを意識付けた。
- ファスナー
  - ・大きなファスナーを使用して練習をする。  
↓
  - ・一般的なファスナーに市販の挿入補助パーツを装着して練習をする。  
↓
  - ・一般的なファスナーを使って練習をする。